

ぼだいじ 居宅介護支援センター

介護が必要になっても、充実した毎日を送っていただけるようサービス利用のお手伝いをいたします。介護保険を利用したいとき、住宅改修のこと、痴呆の悩みなどご相談に応じています。ご相談は無料です。

こんにちはケアマネージャーです。毎月ご自宅に訪問させていただいていますが、「毎月悪いね。」「1ヶ月待ってました!」など様々な反応を頂いています。時間的にご迷惑な方もあるかもしれませんが

- ①ご本人・ご家族の状況に変化がないか
- ②必要なサービスが予定通り利用されているか
- ③ご本人の「望まれる暮らし」が実現できているか

の確認のため、訪問をさせてもらっていますので、ご理解・ご協力をお願いします。またご本人の「望まれる暮らし」はすぐには難しいかもしれませんが、ご本人に関わるスタッフ皆で集まって、ご本人の希望を伺いながら方針と一緒に考えていきたいと思っています。ご自分の思いを表現できない方はご家族に代弁していただく事もあります。どうぞご協力下さいませようよろしくお願いします。

所長 中原 江理

ぼだいじ ホームヘルパーステーション

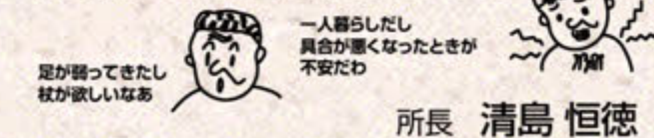
要支援・要介護と判定された方が受けられるサービスです。ホームヘルパーが自宅を訪問し、入浴、排泄介助、食事づくりなどのサービスを提供いたします。

皆様、毎度おなじみの北橋と申します。ヘルパーステーションが出来まして6年近くの月日が過ぎましたが、おしかりを受けたり、泣いたり、笑ったり、励まされたり、貴重な人生経験をさせていただきました。これまでいろいろなところで口出し、手出しをしてきまして、だいぶ嫌がられています。ヘルパー達も仕事に意欲を持ち、がんばってくれていますので、まかせながら共に育ちあい、明るく、温かいヘルパーステーションとしてやっていきたいと願っております。皆様のご利用をお待ちしています。

所長 北橋 多鶴

高齢者支援センター ぼだいじ

お年寄りの健康や介護についての心配ごとについて訪問や電話で、24時間ご相談をお受けします。困ったときはお気軽にご相談ください。相談は無料です。秘密は厳守いたします。



所長 清島 恒徳

賛助金・寄付金 感謝報告

日頃のお祈り、お支えを心より感謝申し上げます。今までにお捧げくださったご献金者名です。誤字、記載漏れがあればお許しください。その旨、お知らせいただければ幸いです。賛助金は、法人の事業活動の充実に用いさせていただきます。ご支援ご協力を心よりお願い申し上げます。(同封の郵便振替用紙をご利用ください。住所、氏名、電話番号をご記入ください)

期間:開設時~2004年3月末 (敬称略 順不同)

青木 きぬ美	青木 正行	赤松 敬明	定立 多津子	阿部 真子	阿部 正毅	阿部 光子	荒川 智	安近 房子	安野 喜仁
家形 日出	生田 邦夫	油田 澄子	石田 しず美	石山 愛子	伊地知 藤太郎	伊藤 アイ子	稲垣 壬午	稲本 亨	井上 明
井上 眞美子	井上 初子	井上 高貴子	岩原 和江	岩村 静子	上島 良彦	梅田 誠一郎	梅田 望	上地 佐知	植野 茂男
藤岡 やす江	後宮 昭子	後宮 周子	後宮 俊夫	後宮 松代	明野 政一	英賀 達子	江藤 淑子	櫻本 和子	櫻本 てる子
大井 和子	大島 昌子	大島 繁子	大西 初枝	大野 佳子	大野 美代	大橋 弘	大林 吉夫	大原 敏子	大本 佳代
大森 美斗理	大久 正和	岡 はつ子	岡野 恵美子	岡本 周子	岡本 拓美	小川 たか子	萩原 ふみ香	萩原 敏次	奥山 田鶴
長 文子	尾崎 朋子	越智 良人	落合 輝夫	堀野 貞	鶴山 尚子	堀谷 富貴子	柏木 和直	片谷 信一	片谷 美智子
加藤 庄三	川上 芳太郎	川崎 幸子	川田 信子	河原 廣吉	菊室 むら	北浦 福美	北尾 静江	北岡 なみ子	北澤 達男
木谷 す美	北橋 多鶴	若村 昌・千代子	木村 晶子	木村 麗好	木本 定江	清島 恒徳	久保 邦夫	久保田 統一	桑谷 シゲ
黒瀬 ひとみ	藤原 尚子	藤原 忠信	五味 由美子	小柳 暹	斎藤 千代	佐伯 昌祥	坂 志江	酒井 真代輔	坂口 幸代
坂田 幸作	坂田 由次	菅原 松子	菅原 千栄子	佐田 順子	佐田 順子	佐藤 博	佐藤 みつ子	佐藤 真一	澤 儀
沢谷 佐理以	下江 恵子	柴田 賢造	島倉 康	下岡 一夫	下野 未子	下村 良昭	下村 良太郎	白井 勇	白井 七右衛門
新庄 あきの	杉江 スワ	杉谷 洋子	杉谷 洋子	鈴木 敦子	鈴木 敦子	鈴木 健児	鈴木 健児	鈴木 貞次	鈴木 貞蔵
鈴木 百合子	角 多平	関 雅人	瀬川 はるえ	瀬川 美代子	妹尾 ヨシエ	宗真 理子	曾我 クニ子	園 三郎	園 ふみ美
多賀 敦子	高井 善政	高井 静子	高井 久子	高田 サダメ	高橋 幸子	田口 政二郎	武 豊	竹山 さよ子	立花
能池 千鶴	能池 富子	立石 勤	田中 一六三	田中 昇・千栄	田中 誠子	田中 春枝	田辺 明子	谷 三一	谷口 あさ子
玉井 壽也	茶畑 せみ	茶畑 重二	塚本 滋子	塚地 ミヤ子	塚地原 一博	辻岡 由里子	寺内 広次	寺崎 スガ	寺田 文子
外村 澄子	重藤 裕子	島屋 なつ	内藤 正子	永井 桂吉	中川 正雄	中川 貴	中島 新子	中田 正道・美歌	中西 一郎
中西 敏子	長浜 武子	中村 サチコ	中村 貞恵	西井 義	西大路 潤子	西川 静子	西川 静子	西河 政枝	西川 由美美
西田 秀子	西田 和可子	西田 和歌子	西村 きみ	西村 マツ	野坂 栄蔵	萩山 美代	萩原 敏	橋本 聡次	橋本 茂樹
橋本 善一	橋本 トモ	長谷川 ナツ	馬場 玲子	酒崎 昭徳	早井 薫	林 忠雄・栄子	春日 茂利夫	橋口 進	藤本 秀子
美藤 章	平田 春寿	平田 真貴子	平野 正	美輪 基兵衛	広瀬 幸一	府上 征三	福井 角造	福井 富美子	福崎 清彦
藤井 克彦	藤本 隆美・久子	藤本 若夫・キク江	藤元 俊和・桂子	藤本 正利	吉川 昭	細川 純子	細田 和民	堀 満津	堀江 達久子
真柄 正子	松田 紀美子	松田 小夜子	松野 清美・正信	藤本 はつ	松本 君代	松本 三三	松本 瑞江	松本 安子	三上 愛
三谷 昭子	南 俊子	三原 好雄	宮下 和子	宮田 登貴子	宮田 豊夫	宮本 由子	宮本 良	村上 宏	持田 敏枝
森岡 兼光	森田 茂	安藤 邦彦	安藤 とよ	矢野 廣美・益栄	山岡 裕子	山口 路子	山下 晶子	山田 秀子	山田 陽子
山中 正次郎	山中 心し枝	山本 節子	山本 伸子	山本 花	山本 晴子	山本 ふさ	吉川 美重子	吉本 洋	和田 かほる
渡辺 サエ子	渡辺 愛・ヒデ子	大住世光教会 中西 千賀子	大住世光教会 藤波 巖	大住世光教会 難波 巖	小栗伝道所 草刈 孝昭	小栗伝道所 草刈 孝昭	輪楽教会 柳井 一郎	輪楽教会 柳井 一郎	
美教会 佐原 英一	京都教会 京都地の塩教会 堀見 三雄	京都教会 京都地の塩教会 堀見 三雄	京都教会 京都地の塩教会 堀見 三雄	京都教会 京都地の塩教会 堀見 三雄	京都教会 京都地の塩教会 堀見 三雄	京都教会 京都地の塩教会 堀見 三雄	京都教会 京都地の塩教会 堀見 三雄	京都教会 京都地の塩教会 堀見 三雄	京都教会 京都地の塩教会 堀見 三雄

*当法人に対する賛助金、寄付金については免税等、税法上の優遇措置があります。領収書をご利用ください。

ピスガからの風

第7号

2004年4月29日
発行所 社会福祉法人 近江ちいろば会



ケアハウス ピスガこうせい

ケアハウスは、自活能力を有する60歳以上の方の高齢者の住宅施設です。当施設は、プライバシーを守り、食事、入浴等のサービス及び急病等のケアや生活相談にいたるまで、対応いたします。高齢者の方でも、安心して生活できます。

(居室数:50室)

痴呆対応型共同生活介護 グループホームぼだいじ

高齢者のお一人お一人が生活の主体者です。少人数の共同生活の中で、専門的なケアを受けながら、個々人の能力を活かし、その人らしく、できるだけ自立的な生活を送っていただけるように考えられています。

(居室数:18室)



社会福祉法人 近江ちいろば会

〒520-3242 滋賀県甲賀郡甲西町大字菩提寺327-4 TEL.0748-74-3900 FAX.0748-74-3910

基本理念

私たちは基督教の精神に基づいて、高齢者の全生活において、「隣人愛の奉仕」を実施することを基本理念とします。

人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。

ルカによる福音書 6:31

- 1.一人一人の人格の尊厳を第一とします。
- 2.人はそれぞれ違うことを確認します。
- 3.一切の差別をしません。
- 4.自分のことばかりでなく、相手のことを考えます。
- 5.各事業が連携して、互いに協力して、目的の達成に努めます。

発行日 2004年4月29日
発行責任者 館長 森口 茂

振込口座

取り扱い金融機関 郵便局
口座番号 0960-0-109363
社会福祉法人 近江ちいろば会

編集後記

いつもお祈りとお支えをいただき感謝申し上げます。新体制になり、各事業所の所長も若返り、近江ちいろば会も新たなスタートを切ろうとしております。チャレンジ精神と思いやりの心を持って、特徴のある施設づくりを目指します。これからも、皆様のご支援をお願い申し上げます。

館長 就任の挨拶

2004年4月から新たに社会福祉法人「近江ちいろば会」の常務理事「館長」の職につくことになりました森口 茂です。私は、29年間松下電器産業株式会社で、主に営業畑を歩んでまいりました。縁あって、施設の責任者となりましたが、民間で養われた経験を生かし施設の存在価値を高め、利用者の方々や地域の皆様に喜んでいただけるように努力する所存ですので、以後よろしく願い申し上げます。少し、私なりの所感を述べさせていただきます。社会福祉法人「近江ちいろば会」はキリスト教の精神に基づいて95年9月にケアハウスを母体に設立されました。後宮俊夫氏、坂田幸作氏の両氏の懸命な御努力で、9年にわたり施設が運営されてきました。この地域になくてはならない施設としてここまでこられましたことは両氏の高い志と多くの方の祈りに支えられてきたものと感謝にたえません。その間に行政による措置の時代から、介護保険制度が2000年4月に導入され、ご利用者と施設は契約の関係になりました。施設の運営には何ら変化はないように見えますが、経営的には大きな変化が起きています。つまり、ご利用者は施設を自分で選ぶことができ、施設も選ばれる時代に入ったということです。今までは、さまざまな規制の恩恵にあずかり、生きてきましたが、規制がなくなったときに生き延びることができるのは、存在価値があり、真にご利用者本位の施設だと思います。選ばれるためには、ご利用者本位で価値あるケアをしなければなりません。そういう意味で、今こそ、経営理念の「人にしてほしいと思うことを、人にもしなさい」ルカによる福音書6章31節の御言葉に柱に理念経営、理念に基づいたケアをすすめることが大切だと思われまます。

これからの時代を、第二の創業と捉え、難局を乗り越えて参りたいと思います。何卒、皆様方のご支援の程、お願い申し上げます。

常務理事 館長 森口 茂

後宮館長・坂田施設長 ありがとうございました

「ビスガこうせい」の建設、そのための社会福祉法人「近江ちいろば会」の設立より10年、このほど現場責任者としての「館長」役を辞任しました。至らぬ者を助け、支え、導いてくださった多くの方に、改めて厚く感謝を捧げます。いろいろな思い出や経過を今までの「ビスガからの風」に書かせていただきました。今回辞任に当たって、この機会を与えられて根本にあった思いの移り変わりを、書かせていただきます。

京都市伏見区桃山でキリスト教会の牧師、同時に教会がしていた保育園の園長をしていました。この時、いろいろなことに関わりを持った高齢の方のさまざまな問題に触れました。大都市の住宅地域で、殆ど核所帯である中産階級の高齢者の一番の問題は当時の社会では行き所がないということでした。老後を過ごすべき場所というか、「終の住処」がないということでした。教会では、少なくとも信徒の該当者の「終の住処」を用意できないかを考えました。当時の教会の資源(財的、人的)には限界があって進めませんでした。厚生省では老人福祉施設の新しいタイプとして、軽費老人ホームの一つとしてケアハウスを創設したので、この創設を検討しましたが、土地の自己所有が条件であったので京都市では無理でした。たまたま滋賀県甲西町に安い土地を紹介され、ここでケアハウスを核に老人福祉事業を開発することになりました。ケアハウスは制度的には自立して生活できる方の施設ですが、キリスト教精神で互いに助け合っていくなら「終の住処」とできると思いました。しかし、残念ながらある種の「痴呆」が生じた方はケアハウスでの集団生活が合わず他の施設に変わっていただかなくてはなりません。このための施設を考えている中で、紆余曲折の中でグループホームの建設になりました。この折衝の半ばで介護保険制度への移行となり、グループホームもケアハウスも経過施設の性格を強くし、当初の目標であった「終の住処」としての運営は困難になりました。今後の大きな課題ではありますが、見通しはもてないまま、あとを託さざるを得なくなりました。

後宮 俊夫

メモリーズ・オブ・「ビスガこうせい」

坂田 幸作

雑木林の丘をブルドーザーが削る。ジェットハンマーがバイルを打つ…。私の好きな光景だ。「保安林解除」で散々苦労したからではない、育った環境のせいだ。20年前(1972年)の「世光教会全面改築」の経験が生かされ、至難と思える事柄をクリアする力となった。それらを考えるとき、私自身の能力を超えた力の存在に気づかされる。「保安林解除」「法人認可」「借入金申請」等の得意とする分野の仕事ではなかったが、出来ないことではなく時間をかけて何とか決着がついた。中には補助金の「前倒し」などという事態にも対応することが出来た。建築現場は私にとって居心地のよい所でもあり、出来上がっていく様を見ることは、“作ること”の楽しさでもあった。しかし、事業開始となると人のかかわること、これが苦手だった。人は物と違って私の思うとおりに動かない。それぞれに動く。厄介なことだった。疲れきりながら歳月は過ぎた。

一つ一つを語れば紙面は尽きない。でも8年半に及び「ビスガ」の歩みの中で、15人もの人の“終のすみか”となりえたことは大きな声で叫ぶに値すると思う。勿論、私一人の力ではなく、職員をはじめ入居者や背後の祈りに支えられてのことでもある。創業者(後宮牧師)の意志が存続されつつ、人間の大事な(最期)を助ける業に邁進されることを望みつつ…。

完

「主の山に備えあり」(創 22:14)



近江ちいろば会の事業紹介

ケアハウス ビスガこうせい

ここ菩提寺に、ケアハウス・ビスガこうせいが開設して、9年を迎えようとしています。開設1年目から、お住まいになっている方の多くが、今もお元気で自立した生活を送ってられる事は我々スタッフにとって大きな励みです。

ケアハウスでの生活は、炊事以外は自立が原則と言われています。・・とは言うもののこちらでの生活を重ねる中で、3年前・5年前に出来ていた事が、徐々に難しくなるのは当たり前の事、そうした時には法人内に併設されたヘルパーステーションからヘルパーの応援や、地域の方との交流も出来るデイサービスセンターをご利用頂く事で、いつまでも安心して生活出来る環境を提供しています。

ビスガこうせいのスタッフは、ここにお住まいの皆様が、いつも主人公となって生活していただく為、背後からのお手伝いを致します。そしてお困りごとは、ご遠慮なくお伝え下さい。無力ですがあなたと共に考えこれからもあなたと共に生活します。

所長 中原 基



食堂の風景

ぼだいじ デイサービスセンター

要支援・要介護認定を受けた方を対象に
食事や入浴、また個々にあった
レクリエーションを日帰りで行います。
専用車による送り迎えもいたします。



デイサービスでは、一人一人に生きがいがあるサービスを目指しております。

高齢とともに、これまで積み上げてきたものが少しずつ減っていきます。そういった喪失していく中において、個人の尊厳を守り、人格を尊重して、最後までその人らしく生きられるように努めております。

そのため、お世話するのではなく、送迎・入浴・食事・余暇活動を通して、ご本人が決定して自立(自律)出来る「支える」介護に努めております。又、痴呆介護にも力を入れ、限られた時間・限られた中でも、ご本人・ご家族と問題の共有に努め、周辺症状・介護の軽減に努めております。

所長 芦田 泰俊



グループホーム ぼだいじ

痴呆対応型共同生活介護

「グループホームぼだいじ」も、開所して3年目を迎えることが出来ました。これもご利用者様、ご家族様、グループホームを支援して下さる全ての方々の御力と感謝しております。



いろいろの間

昨年も、お花見、イチゴ狩り、ビスガこうせいと合同の夏祭り、温泉行き、御餅つき、自治会の方に招待して頂いてのどんと焼きなど、多くの行事を楽しむことが出来ました。中でもイチゴ狩りでは、はじめ行くことを渋っておられた方が、始まるや否や真剣にイチゴを選ばれたり、「人間って欲が深いものね」と山盛りのイチゴに満面の笑顔。御餅つきでは多くのご家族様のご協力を仰ぎ、不慣れな職員のそばで手際よいご利用者様の見事な手つき。2年間まさに「家族同然」という気持ちで、日々共に過ごさせて頂き、これからもより多くの笑顔を、と職員皆願っています。

よりご利用者様、ご家族様の願いに応えられ、かつ地域の皆様にもより御理解頂けるよう、努力して参りたいと思います。

所長 齊藤 尚美



居室